

京丹後市保幼小中一貫教育推進基本計画

各期の指導目標

		芽生え期 0～2歳	0期・自立期 3～5歳	幼児期の終わり までに育ってほ しい姿	I期・基礎期 小1年～4年	II期・充実期 小5年～中1年	III期・発展期 中2年・3年
確かな学力	意欲	大人の見守りの中で、安心・安定して過ごし、多様な体験を楽しむ。	遊びを通して、人やもの、自然、出来事等に広く興味をもち進んで関わる。	豊かな感性と表現 自然との関わり・生命尊重 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	学習に対する興味・関心を広げ、知的好奇心や探究心をもつ。	興味・関心のあ る事柄について調べたり、確かめたり、自主的に学習する。	自己の進路の実現に向けて、主体的に学習する。
	言語・表現	大人を仲立ちとして、簡単な言葉でのやり取りを楽しむ。	自分の思いを伝えるなど、話すことを楽しむ。	言葉による伝え合い 豊かな感性と表現	言葉を広げ、体験したことを相手に分かるように伝える。	根拠を明確にして、自らの意見や主張を表現する。	情報を集めて考えを練り、論拠の明確な文章を書いたり発表したりする。
	思考	盛んに模倣し、物事の共通性や違いを見つける。	ものの性質や仕組みについて気付き、遊びに生かす。	思考力の芽生え 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	思考力の基礎となる知識や技能をしっかりと身に付ける。	学んだことを活かし、いろいろな観点から筋道を立てて考える。	物事を分析・総合し、論理的に考えてよりよく問題を解決する。
豊かな人間性	協同	一人遊びだけでなく、大人が仲立ちとなり、友達に関心をもって遊ぶ。	友達と楽しく遊び行動する中で、互いのよさが分かる。	協同性 自立心 道徳性・規範意識の芽生え	友達と仲よくし、互いに理解し合って、助け合う。	集団の中で支え合い、高め合い、互いに自己を生かす。	社会を担う責任を自覚し、人や社会とつながり、共生する。
	人権	思いを伝えようとし、伝わった時には喜ぶ。	様々な年齢の友達と関わりをもち、親しむ。	社会生活との関わり 道徳性・規範意識の芽生え	相手の立場に立って考え、思いやりの心をもつ。	個性や価値観の違いを認め、自他を尊重する心をもつ。	身の周りの不合理に気付き、差別を許さない態度と実践力を身に付ける。
	規範	大人との関わりの中で、よいことや悪いことに気付く。	自分たちで遊び方の決まりをつくり、楽しく遊ぶ。	道徳性・規範意識の芽生え	約束やきまりを守り、みんなの使うものを大切にし、協力し合う。	学習や生活のきまりの意味を考え、規律ある生活を確立する。	社会の一員として、法やモラルを尊重し、よりよい判断で行動する。
たくましく心と体	自立・自律	食事、排泄、着替えなど、自分でしようとする。	友達と関わりを深め、集団生活を楽しみ、行動する。	自立心	集団の中での自己の役割を考え、行動する。	自己を肯定的に受け止め、将来に希望をもち、よりよい生活をする。	自分の将来の目標に向かって、見通しをもち、粘り強く挑戦する。
	体・健康	大人と一緒に遊具を使うなどして、体を動かすことを楽しむ。	戸外で友達と一緒に、進んで様々な運動や遊びをする。	健康な心と体	健康や安全に気を付けて、運動の基本的な動きや技能を身に付ける。	健康で安全な生活を営もうとする自己管理能力を身に付ける。	心と体を一体としてとらえ、健康でたくましい自分をつくる。